さくら新聞

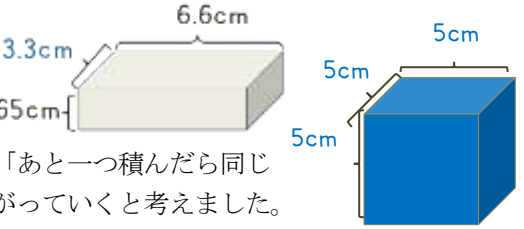
令和８月９月１日発行
石神井町さくら保育園
〒177-0041　練馬区石神井町７−25−45
TEL　3997-0070

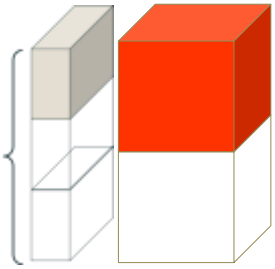
『共育ち』から『ウェルビーイングの向上』へ

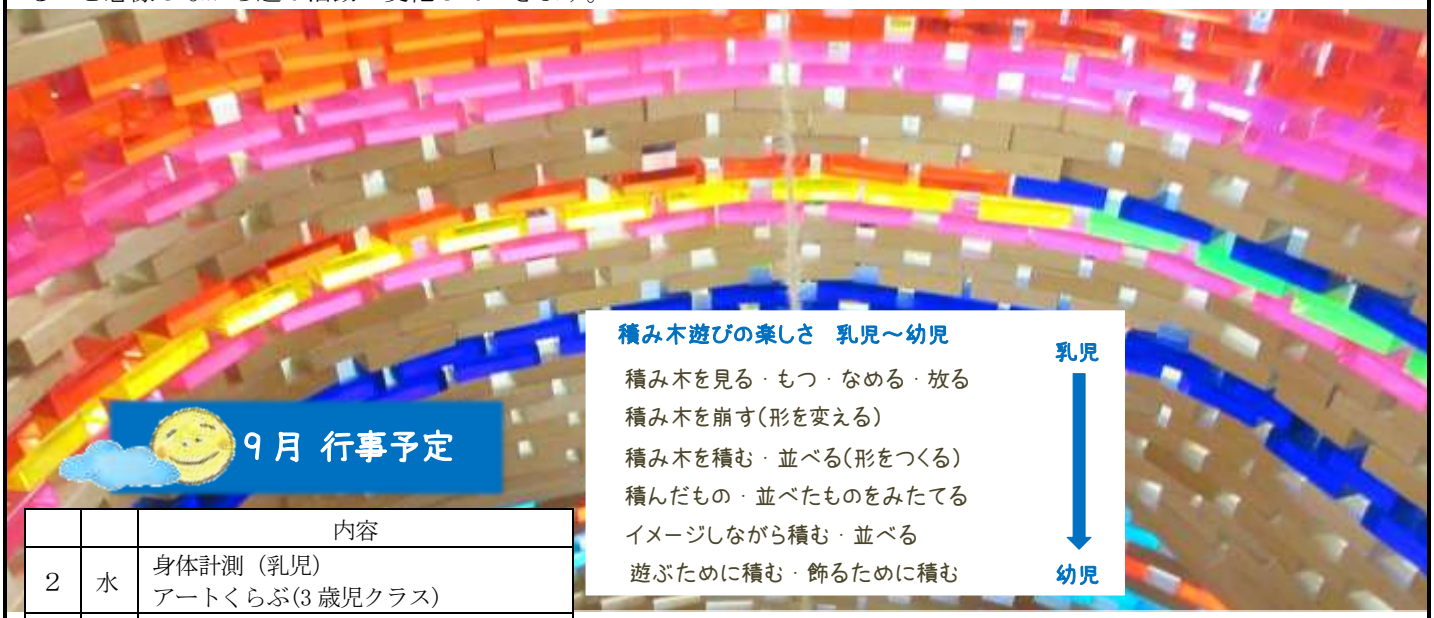
月の主題：楽しい夏を過ごそう
保育のねらい：生活習慣を整え、元気に過ごす。
身体を動かして遊ぶ楽しさを味わう

積み木っておもしろい！

写真の積み木は、年長児クラスの子どもたちの作品の一部です。整然と積まれた様子がとても美しく、うっとりしますね。ドイツの教育者であるフレーベルは、子どもの「遊び」そのものを教育と捉えた人です。積み木で遊ぶ中で「こっちの方が大きい」「あと一つ積んだら同じ長さになる」など、感じたり、考えたりする経験が後に、数学的な思考に繋がっていくと考えました。積み木には、それぞれ「基尺」と呼ばれる基本の長さがあります。幼児クラスでは、フレーベルの考え方を受け継ぎながら、子どもの手にフィットする大きさである、基尺3.3ｃｍの積み木で遊んでいます。【3.3ｃｍ×3≒10㎝】の積み木なので、右図のように、3つ積んだら10㎝の高さになります。一方、乳児クラスでは、基尺５ｃｍの積み木で遊んでいます。2、3こ積んだものを電車や自動車などに見立てて、実際に動かして遊ぶ姿も多く見られる時期です。ひとつひとつの積み木が、ある程度の重さがあるため、動かして遊んでも手ごたえが感じられるようです。幼児クラスくらいになると、実際に動かしてみなくても、頭の中で動いていること想像しながら遊ぶ活動へ変化していきます。







９月 行事予定

		内容
2	水	身体計測（乳児） アートくらぶ(3歳児クラス)
3	木	入園見学会
4	金	身体計測（幼児）
8	火	おはなし会 ふれあいランチ
9	水	**総合防災訓練・引き渡し訓練**
15	火	アートくらぶ(4歳児クラス)
16	水	アートくらぶ(5歳児クラス)
25	金	十五夜 ニコニコフォト撮影日
28	月	くりぐみ（4歳児）保育参観開始

・絵本貸出（全園児）
　貸出日：木曜日　返却日：月曜日
・ゲーム貸出（5歳児クラス・在園児の兄姉）
　貸出：毎週(水)(木)(金)　返却：(火)

積み木あそびは、0歳児クラスから始まります。上の図のように、まずは見たり、触ったり、放ってみたり、なめてみたり、積んであるものを崩したり、モノとして、いろいろと試してみるところから、あそびは始まります。ひとりあそびから、やがては、友だちと協力して積み上げることに楽しさを感じられるようになり、積み上げた積み木の中でお店やさんごっこをしたり、クラスの中で楽しんでいることのシンボル的な存在になったりすることで、遊びが深まっていき、結果として左図のような力が育っていく大切なあそびのひとつです。

（文責：有馬　聡子）

積み木で遊んで育つ力

①協同性　⑤想像力
②達成感　⑥思考力
③表現力　⑦調整力
④美的感覚　⑧物理感覚

HugKum 小学館　高山静子氏より

くるくるリユース会のお知らせ

・回 収 期 間　：10 月 6 日（火）～10 月 14 日（水）
玄関に回収箱を用意しますので入れてください

・お持ち帰り期間：準備が整い次第 ～10 月 22 日（水）
お気に入りの物があったら、どんどんお持ち帰りください。
職員に声をかけていただく必要はありません！

日	月	火	水	木	金	土
4	5	6	7	8	9	10
		回収期間				
			お 持 ち	帰 り 期 間		
11	12	13	14	15	16	17
		お 持 ち 帰 り 期 間				
18	19	21	22	23	24	25
			最終日			

10 月 6 日から集めるもの

てぶくろやぼうし等
冬小物も集めます

●子ども用衣類（夏服・冬服は問いません・ロンパース可です）

●子ども用外靴、上履き(まだ履くことができるもの)

●未使用又は未使用に近いタオル（バスタオルの大きさまで）

＊下着、靴下は回収いたしません

今年度の衣類や靴のくるくるリユースは**今回が最後です！**

次回　２月のくるくるリユースはお昼寝用のコットシーツや綿毛布で行います

＊お持ち帰りのなかった衣類や靴は
石神井中学校の『届けよう、服のチカラプロジェクト』や『NPO 法人ワールドギフト』に寄付させていただきます

左の写真はプラネタリウムの中です。保育園にいることを忘れるぐらいたくさんの星の数々に圧倒されます。室内でも星空をみあげることが思う存分体験できます。

星つむぎの村
キャリングプラネタリウム

R8 .8.17

～プラネタリウム体験記～

先日、子どもたちが体験したプラネタリウムのエピソードを『体験レポート』としてまとめました。プラネタリウムの体験を通じて、子どもたちの心にどのような変化や動きがあったのか、ご紹介します。

星つむぎの村とは

“星つむぎの村”の活動の思いは、
「すべての人の心に寄り添い、星空を届けること」
です 。特に、病気や障がい、環境などの理由で本物の星空を見に行くことができない人々を大切に想っています 。どこにいても誰もが星空を見上げられる環境をつくることで、**「私たちは一人ではないこと」**、そして**「命の尊さや宇宙とのつながり」**を感じてもらうことを願い、多様な活動を続けています 。

プラネタリウムは空気の力でふくらんでいます。

① お迎えの時の一コマ

「宇宙に行ってきたんだ」
子どもがお迎えにきた親に向かって放った、銀河のような輝かしい一言です。
この日、私たちは移動プラネタリウムを体験しました。空気の力で膨らんだエアドームの中へ、ワクワクした気持ちで歩みを進めます。ドーム内は神秘的な暗闇の世界。子どもたちはそれぞれ横になり、星空を見上げるベストポジションを見つけて準備を整えました。

② １２星座の特別体験

宙先案内人のマイクアナウンスとともに、いよいよ宇宙への旅が始まります。12 星座が映し出された場面では、「さそり座の〇〇さん」と一人ひとりの名前を呼んでもらいました。夜空を見上げながら星座にまつわるお話を聞き、たとえばてんびん座なら「12 星座の中で唯一生き物ではなく、物である」といった豆知識も教えてもらいました。自分の星座への愛着がより湧いてくる、特別な体験となりました。

③ 火星対保育園

続いて、太陽を取り巻く惑星への旅が始まりました。ボールくらい小さかった火星が段々と大きくなって迫ってきます。まるでぶつかってしまうのではないかと思うほど、スリル満点です。
「みんな、手を挙げて！」アナウンスが響きました。一斉に手を挙げると、火星の動きがピタッと止まります。そこから「せーの」で力を合わせて火星に向かってプッシュすると、ぐーーんと勢いよくどこかへ飛んでいきました。みんなの心が一つになったからこそできた、不思議な体験です。

おわりに

宇宙という広大な世界をみんなで冒険した時間は、あっという間に過ぎていきました。星の美しさに見とれ、宇宙への興味や知識が広がり、まるで本当に宇宙空間にいるかのような没入感を味わった子どもたち。今日という一日が最高の日になったことを実感し、星を大好きになれる時間に出会えたことに心から感謝します。
「私たちは、本当に宇宙に行ったんだ」
素敵な思い出をくれた宇宙へ、
ありがとう。

キッチン

文責　野村　七穂

9月9日　総合防災訓練

災害時の給食を考える訓練

毎年、総合防災訓練では、避難や引き取り訓練のほかにも、備蓄食品を使用した給食訓練も行っています。

今年度の給食訓練では、キッチン内で実際に災害が起こったことを想定し、食材の流通や調理環境、限られた中で出来ることについて、職員同士で意見を出し合いながら献立を考えました。

単に「アルファ化米を使用する」「使い捨ての容器を使用する」という訓練ではなく、状況を具体的に想像し、その中で実現可能な献立はどんなものなのかを考えることを大切にしました。

実際には、想定通りにいかないことも多く、その時に合わせた判断や工夫が必要になると思いますが、話し合いを進める中で、「この場合はどうする」など、実際に考えてみたからこそ見えた課題や気づきもありました。事前に問題点を共有し、考えることで災害時に落ち着いて判断するための備えとなりました。

災害時に提供する献立は、今回考えたものとは異なると思いますが、だからこそ、決められた方法を実践するだけではなく、状況を考え対応していくことが大切だと感じています。今回の訓練を通して、みんなで災害時について考える大切な機会となりました。

実際に話し合いで考えたポイント

【食材について】
- 備蓄・在庫の食材を積極的に取り入れた献立を考える。
- アレルギーの食材を使用しない。
- 比較的に手に入りやすく、日持ちする根菜などを使用する。
- 葉物野菜は、十分な洗浄が難しいことを考慮し、今回は使用しない。

【調理環境について】
- 停電を想定し、スチームコンベクションオーブンを使用しない。
- 煮る、炒めるなど、しっかりと加熱ができる調理方法を取り入れる。

【衛生面について】
- 和え物などの、野菜を茹でる→ざるに上げ冷ます→調味料と和える。など複数の工程が必要になり、限られた環境では衛生管理や作業性が難しいと考え、今回は献立に取り入れない。

【作業性について】
- 限られた器具や環境でも、調理がしやすいように一つの鍋で作ることが出来る献立を考える。

家庭で活用しよう　ローリングストック！

災害時用だけでなく普段から食べられる食材を備蓄し、定期的に食事に取り入れ、なくなった分を買い足していくのがこの備蓄法です。いつもの食卓に並ぶものだからこそ災害時でも「食べ慣れた味」の食事がとれるので、ストレス軽減にも役立つといわれています。

必需品	副菜と果物
・飲料水	・梅干しや漬物
炭水化物	・果物缶詰
・乾麺	その他
・パックごはん	・飴やチョコ
主菜	・即席スープ
・レトルト食品	・調味料
・パスタソース	※アレルゲンの含まない食材
・缶詰	※離乳食や液体ミルク

おひる
- ご飯　炒りツナ添え（幼児のみアルファ化米）
- 大根と玉葱のみそ汁
- ひじきと高野豆腐の煮物
- 茹でさつま芋

おやつ
- 鶏肉とわかめのうどん入りスープ
- 牛乳

※画像はイメージです

おやつについて

うどんは、短い麺を使用することで全園児がスプーンで食べられるように考えました。

塩分０のうどんを使用しているため、別茹でをしなくてもぬめりが少なく一つの鍋で作れます。

保健

文責　佐々木　優子

熊本の地震で改めて災害の恐ろしさをみせつけられ、胸が痛みます。今後30年以内に東京都直下地震が起きる可能性は70％と云われています。震度6強の揺れが東京で起きたらどうなるでしょう？

水が出ない中での傷の手当は？
歯磨きは？トイレは？
（上下水の復旧まで約20日）

ガスが使えずにお風呂に入れなかったら？
（想定復旧　約6週間）

通信不通で保育園と保護者の連絡がとれなくなったら？（想定復旧約4日）

ケガをしたのにガーゼも何もなかったら？

もしも　を　かんがえよう
もしも　に　そなえよう

また、災害は自宅にいるときにおこるとも限りません。勤務先や外出先で**交通機関が使えなくなったら**？（72時間帰宅抑制）

夜中に緊急地震速報もありましたね。震度6強の翌日は開園出来ているのかしら？聞きたいけど**電話が通じない**！
（災害伝言ダイヤル171）

先日は夕方の帰宅時間に大雨危険警報も発令されました。

この機会に、様々なシチュエーションを想像してみましょう。備えを強化することが、いつか必ず来る大災害の不安を軽減してくれます。

災害に役立つ代用品

災害が起こると落下物や割れたガラスなどでけがをしやすいです。
部屋が散乱したら、室内でも**靴**を履きましょう。

《傷の手当て》
出血したら、清潔なガーゼで圧迫して止血します。
そのあと、傷をきれいに洗い、ガーゼや絆創膏で手当てします。
水が出ない時のために、ペットボトルの水があるといいですね。

お家の救急箱に、ガーゼや包帯、テープ、絆創膏、ピンセットを準備しておきましょう。100均ショップでも揃いますね。
保育園の衛生材料も定期的に点検していますが、もし、その場に救急セットがない時には身近なもので代用できるような案もあります。
覚えておくと、アウトドアなど外出先でも役にたちます。

代用できない・・・「薬」

ご家庭のお薬をチェックし、古い薬は処分しましょう。
アレルギー疾患などで薬の対応をしている方は、災害時に対応できる１週間分くらいのお薬を救急時持ち出せるようにしておきましょう。

手ぬぐい1枚で出来る代用品

健康教育　・・・ケガをしたら、どうしたらいい？・・・

日頃子どもたちが園でケガをした時には、**ぶつけたら「冷やす」、すりむいたら「流水で洗う」**を繰り返し、適切な対応を身に着けていけるといいなと思っています。
いざという時には、自分で応急に対処できるように、けがの「手当てクイズ」をします！

＊**目にゴミが入ったら、**手でこすって出す？　水の中で目をパチパチする？
＊**やけどをしたら、**すぐに薬を塗る？　水を流しながら冷やす？
＊**鼻血の時は、**上を向く？　下を向く？　　**正しいのはどっちかな!?**

防災　特集

～子どもたちの安全のために～

携帯されていますか？

災害時引き取りカード

石神井町さくら保育園

総合防災訓練・引き渡し訓練を実施します

9月9日（水）に、大規模災害を想定して『総合防災訓練』を実施します。
保護者の方とは降園時に**『引き渡し訓練』**を実施します。

引き渡し訓練とは？？

災害時、コドモンが使用できなかったり、電話がつながらずお迎え変更の連絡ができなかったり、様々な非常事態が起こります。お迎え時の混乱を想定してお子さんを安全にそして、確実に保護者へ引き渡す手順を保育園側と保護者と両者で確認する訓練です。

『災害時引き渡しカード』を使用して訓練を行います。
いつもと比べて保育園を出るまでに時間がかかるかもしれません。ご協力お願い致します。

お迎えに来たら保護者は職員に
① お子さんのクラスと名前
② 続柄
③ お迎えの方の名前を名乗り
④ 災害時引き取りカードを渡す
例
「くり組の石神井町さくらの母のはなこです」

職員は
⑤ 災害時引き取りカードに書かれているお名前を確認
⑥ 保育園に提出いただいている緊急時園児引き渡し票を確認
⑦ 「さくらさんお迎えです」と呼ぶ
⑧ 保護者へお子さんを引き渡す

災害は突然やって来ます　もしもの時に備えて確認をお願いします

- □ **災害時引き取りカード**は携帯していますか？
- □ 第二避難場所の**石神井中学校**の場所はわかりますか？
- □ 第三避難場所の**光和小学校**の場所はわかりますか？

石神井町さくら保育園の備蓄食品と防災用品のリストをご紹介します

NO	品　名	数　量
1	保存水　（2ℓ）	162本
2	アルファ米　（1箱50食）	
	〃　わかめ	3箱
	〃　白米	4箱
3	白がゆ　（250ｇ）	11袋
4	ミルク缶	1缶
5	ツナ缶　（140ｇ）	69缶
6	スティックチーズ	126本
7	クラッカー（1缶75ｇ）	72缶
	ライスクッキー（8枚）	4缶
※	哺乳瓶	20本
※	卓上コンロ	3台

NO	品　名	NO	品　名
1	園旗（オレンジ）	15	布ガム・セロハンテープ
2	ハンドマイク	16	非常用壁掛け懐中電灯
3	携帯ラジオ	17	おんぶひも・さらし
4	ワンセグＴＶ	18	簡易タンカ用シーツ
5	使い捨て手袋	19	タオル・石鹸
6	ＬＥＤランタン	20	ブルーシート
7	ラップ	21	ビニール袋
8	ペーパータオル	22	救助用毛布
9	マスク	23	予備電池
10	紙おむつ	24	ソーラーパネル付ポータブル蓄電池
11	簡易トイレ	25	針・糸・はさみ
12	ロープ・軍手	26	ブルーシート
13	トイレットペーパー	※	救急用品一式
14	ティッシュペーパー	※	事務用品一式

避難訓練　年間計画

ねらい

1　災害の恐ろしさを知り、冷静かつ敏速に避難させる態度や心構えを養う。
2　事故の発生を未然に防ぐため、避難訓練の徹底、防犯設備の点検等防災対策の確立を図る。
3　非常事態発生時には、適切な避難の方法により、園児の安全を確保し、状況によっては搬出保護にあたる。
4　常に情報の収集や安全点検に心を配り、計画的な実施訓練を積み重ね緊急時の対応を身につける。

月	想　定	ね　ら　い	訓　練　の　内　容
4	地震 ベルの音を聞く	◆避難訓練の計画、方法、約束等職員で話し合って徹底する ◆各保育室の防災グッズの場所を表示する ・ベルの音を聞く	・各クラスの安全点検、安全箇所の確保、避難経路の徹底、放送設備の操作方法及び、散歩コースの確認 ・非常ベルを鳴らす
5	地震	◆指示を受けて行動する大切さを知らせる ・ベルの音を聞き保育士の元に集まる	・ベルの音を聞き安全な場所に避難する ・災害の怖さを知らせると共に、避難する時は「押さない、駆けない、喋らない、戻らない」の約束をする（おかしも）
	水害訓練	◆情報班が速やかに情報収集を行う ・安全な場所へ避難する	・園舎前の水道管が破裂し、道路の水が想定浸水深1m以上を想定して実施 ・情報から適切な判断、指示を行い避難する
6	火災 通報訓練	・指示を聞き、落ち着いて避難する	・火災発生時に、発生場所を考慮して適切な避難行動をとれるようにする
7	延長保育時の火災 通報訓練	・担任以外の保育士との避難訓練を経験する	・合同保育のため、安全確認、人数把握をしっかりとしてから避難する
8	火災	・人数把握を確実に行い、安全に避難する	・降園時間の人数把握を確実に行い、安全に避難する。
9	総合防災訓練	・指示に従って安全確保、防護措置を行い、適切な災害対策と防災意識の高揚を図る	・指示を受けてから保護の仕方、人数報告の仕方を学ぶ ・引取訓練を行い名簿の記録の仕方を学ぶ ・通報訓練、応急救護訓練、消化訓練 ・非常用常備品、防災設備の点検を行う
10	火災 消防教室 消火訓練	・消防士の指導により、避難する方法を学ぶ ・初期消火訓練の大切さを知る	・安全な避難の仕方を学び、実践する ・消火器の使い方を知る
11	地震→火災	・第二避難訓練場所へ安全に避難する	・指示に従い、避難経路を確保し、安全に石神井中学校まで避難する ・人数把握を名簿で確認する
12	散歩先での訓 通報訓練練 地震	・園舎外に出ている時の避難方法を知る	・園舎外で安全な場所を選んで避難させ、近くの電話または携帯電話を使って、保育園に園児、職員数、居場所、状況などを報告する
1	予告なしの訓練 地震→火災 通報訓練	・寝ている時の安全確保と敏速な避難方法を身につける	・安全確保、人数確認、眠りから覚めた時の子どもの状態を把握し避難させる
2	予告なしの訓練 火災 通報訓練	・火災の避難方法を知る	・火災を知らせ、煙から身を守り、安全に避難誘導する ・初期消火を行う
3	予告なしの訓練 地震・年間反省	・指示を聞き落ち着いて避難する	・指示に従い、避難経路を確保し、安全に避難させる ・年間を反省し、次年度の参考にする